

平成31年4月21日執行

宇多津町議会議員選挙 候補者選挙公報

宇多津町選挙管理委員会



防災体制と人材育成の充実した宇多津町の未来へ

ごく近い将来、南海トラフ巨大地震が発生した場合に香川県でも最大震度7の揺れが予測されています。現状として、そうした巨大地震がいつ発生してもおかしくない状況と言えます。個人住宅や町営住宅の耐震化のため補助金を利用した耐震診断や耐震改修の普及、自宅の家具・家電等の転倒防止対策、飛散防止フィルムの施工、建物・家具・内装等の耐火・防炎化対策、火災警報器・消火器・感震ブレーカ等の普及、防災ラジオの普及、ブロック塀の点検・補修工事、災害時の避難行動の検討や避難経路と避難場所等の確認、地区・職場・学校等での防災・避難訓練の定期的な実施、自宅・職場・学校・地区等で防災用品や水・非常食等の備蓄や避難所等の整備を検討し実施する必要があります。また、海岸からの高潮や津波を防止する対策等を検討し実施する必要もあります。

宇多津町や香川県さらには日本の明るい未来を築くために、子供たち各々が自分に合った将来の明確な目標を持てるような教育支援の体制を充実させることで社会に有用な人材を育成することを検討し実施する必要があります。

【プロフィール】 昭和33年2月 宇多津町に生まれて育った61歳。

国立大学教育機関で文部事務官としての公務及び宇多津町水道事業での公務を公務員ではなく水道事業量水器点検事務受託者・香川県広域水道企業団水道メーター検針事務受託者（水道検針員）として20年以上も責任を以って果たしてきました。東日本大震災以降に私設研究所を開設して防災研究にも取り組んでおり、防災関連設備の特許・実用新案の出願及び取得等の研究成果も得てきました。防災士取得。



馬場 けいじ

町民が元気で幸せに暮らせるように

- 【実績】
 - 宇多津小学校のプールの改修
 - 国の標準冊数より不足していた学校図書の実施
 - 認知症対策としての「脳の健康教室」の実施
 - 職員の駐車を他所に移し、役場の駐車台数を確保
 - 国民健康保険証のカード化
 - 未収金対策としての「債権管理条例」の制定
 - 現状に合った「子ども SOS」の見直し

(抜粋)

【プロフィール】

- 昭和27年生まれ
- 県立丸亀高等学校卒業
- 東京理科大学理工学部卒業
- 元 宇多津小学校 PTA 会長
- 元 香川県町村議会議長会副会長

- 切れ目のない子育て支援や子どもの遊び場の整備をします。
- 高齢者のためにコミュニティバスの導入と居場所づくりを実現します。
- 英語教育・理数教育・人間教育・郷土愛を育む教育の充実を図ります。
- 地域に即した防災対応と避難経路・避難場所の整備を進めます。
- 公共施設（三角邸・こめっせ等）の利便性を図ります。



大松 きちろう
元町議会議員

人生100まで、軽くクリアー
平均寿命100才
絶望のときは希望を
人生は二度ない、三度ある
人間生きてるだけ、まうせうけ



木村 川 かつお

うたづの今、そして未来に活力を！

女性の視点を生かします

子育て・教育対策

子育て世帯の要望をつかみ、子どもたちの居場所づくりや支援のための対策を講じます。



防災・災害対策

災害被害を最小限にするため自主防災会づくりを促進し、自治会との連携を強化します。

女性の活躍対策

女性が活躍しやすい社会を目指し、子育て支援や介護世帯のサポートを充実させます。

空き家・街並み対策

空き家の利活用を進め、定住人口の増加につなげ、歴史ある街並み保存に尽力します。

健康・生きがい対策

年齢に応じた検診の受診率を高め、誰もが健康で生き生き暮らせる町を目指します。



高齢者・障がい者対策

公共施設などのバリアフリー化を進め、障がい者や高齢者の生きがいづくりを応援します。



西本 ゆづこ
57歳

選挙に必要なものは
地盤 看板 カバン
【支持票】 【知名度】 【お金】

と言いますが、
もっと大事なものが抜けています。

それは**執念**です。
すきな町から、す**て**きな町に
一生懸命**て**を入れて
宇多津町をすてきな町にしていきます。



浜中 やすお

宇多津町を元気にする「3つの政策」を実現します!!

1 鴨田川の改修工事

20年以上改修工事が進まないピンチ事業で、川の氾濫や浸水対策として川幅の拡張工事を行い、災害を未然に防ぐ最重要事業。

2 インフラ整備の計画的施策

最低でも5年後のインフラ整備を計画的施策にする事で、インフラ整備の予算の安定的確保を目指す。

3 人とペットの共生する宇多津町

ペットを飼っている人も飼っていない人も、モラル・マナーを意識し、ペットと共生できる町づくりへの実現化。



みなと 一 紫
ただいま 34歳

小さな声をカタチに。

- 公明党 宇多津町議会の実績**
- 75歳以上高齢者タクシー補助券支給制度を実現
 - 火災警報器購入補助制度
 - 自主防災機器購入費助成制度
 - 宇多津駅にエレベーターを設置
 - ゲリラ豪雨排水ポンプ場設置
 - 救急医療情報キット配布を推進

プロフィール 1957年3月3日生

- 学歴 会津若松市立永和中学、福島県立会津女子高校卒
- 職歴 株式会社電機総合研究所
- 役職・地域での活躍-
- 党 宇多津副支部長
- 趣味 音楽鑑賞
- 特技 手話
- 愛読書 少女パレアナ
- 座右の銘 日に新たに、日々に新たなり
- 尊敬する人 鄧穎超(周恩来夫人)



公明党公認
水本ふみ子



水本ホームページ

- ①安心・安全な町づくり
②子育てしやすい町づくり
③活力と魅力にあふれる町づくり

みんなが夢と希望を持てる町に！

少子高齢化、核家族化などの問題が山積されていますが、孤立化を防ぐために地域社会へのつなぎ役になり、お互いに支え合い笑顔あふれる思いやりのあるまちづくりを目指して頑張ります。



だいく
大黒かずや

61歳

ふるさと宇多津町をもっともっと住みよい町にするために

- 高齢者や障がい者に安心して住める、やさしい福祉の充実「居場所づくり」
- 未来を担う子どもたちのために、「教育」から「共育」へ
- 素直な笑顔、感謝の気持ちを伝える、思いやりのある教育環境
- 若者が元気に生活できる環境整備
- 住民参加による健康スポーツ活動
- 観光、伝統文化の継承と保護

誠実、謙虚、熱意で、住民目線で共に取り組みます。

若者に希望を 高齢者に安心を

- 議会ですべての報告を行います
- 議会の目録で町政をチェック

日本共産党の躍進で消費増税の中止を

- みなさんといっしょに作ります
- 高校卒業まで医療費無料化へ
- 給食費の無償化を
- 通学路の安全対策をすすめます
- 暮らしに便利な公共交通を
- 防災対策を強めます
- 国保税、介護保険料の負担軽減
- 奨学金返済の負担を軽くする制度



神出 佳宏
かんでよしひろ
29歳



古里 うたづへの想い

【新都市地域】
四国水族館を核とし、新都市の活性化が急がれる。町内での滞在時間を長くすることが、町の活性化に繋がる。新都市の再編整備を官民が協力し、近隣自治体との協働が早急に必要なです。

【古街地域】
急速に進む高齢化は、宇多津町も例外ではありません。世代間交流センターを核に、空き家を再利用すれば、いつでも集まれ、自立して生活できる場所となります。コンパクトさを活かして、安全で安心して生活できる、まちづくりが必要です。

【南部地域】
若い定住人口を増加させることが宇多津町の未来に繋がります。そのためにも、道路の新設・改修、公園や児童館等の設置を早急に、安心して子育てできるような、更なる教育の充実や教育環境の整備、子育て支援、新築住宅の補助等が必要とされます。多くの課題がありますが、どれも目下の急務です。

議会人として只管、真直ぐ直向きに古里うたづと共に歩んでいきたいと思います。



宮本たかし

4つの公約を実現します。

- 働く女性を支援**
 - 女性が働き続けることができる社会を目指す。
 - 女性の経済力向上のため基本収入を設定。
 - 25歳で第1子をもてる環境づくり。
- 観光事業の充実**
 - JR宇多津駅と連携して、外来客に対する旅客サービスを拡大。要員スタッフ育成。
 - 町全体の宿泊事業で30億円以上(30万人×1万円)の純利益を実現。
 - 地震・災害対策の避難所機能を果たす。
- 教育の充実**
 - 教育・就職活動に町全体で取り組む。
- 住みやすい街・宇多津**
 - 歴史的景観保持、緑化で涼しく。
 - 引き取り手のない家屋・財産・ペットなど愛情を込めて引き継ぐ。

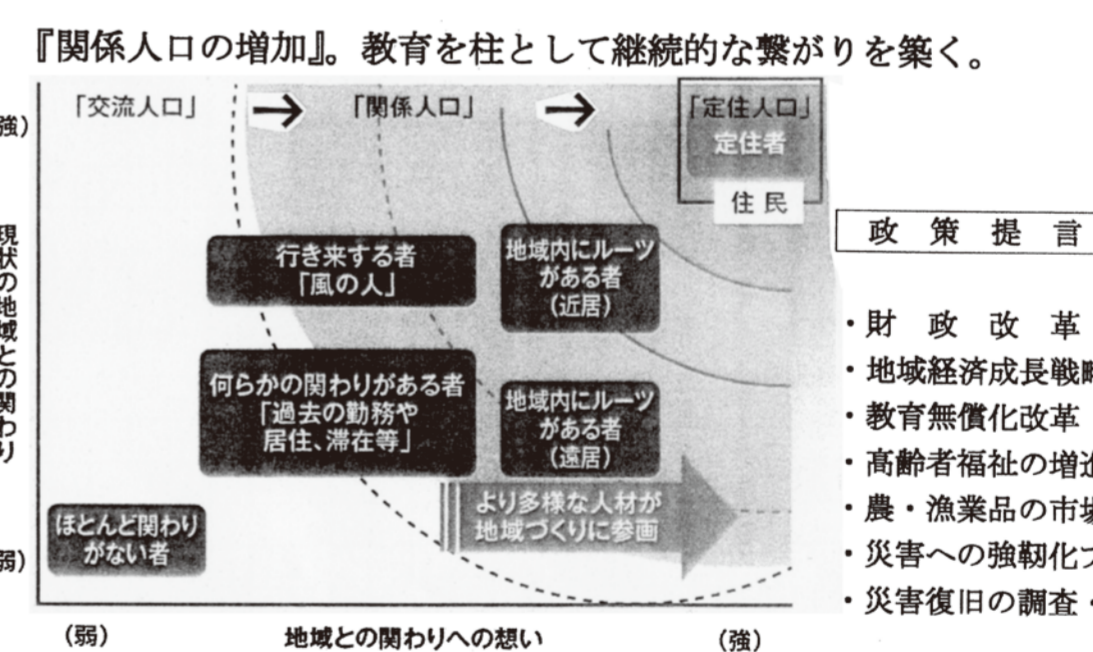


松山まさひろ
横浜市立大学 医学部 卒

宇多津町創生の第2弾！(定住化に向けて)

政治は交流人口→関係人口の時代へ

地方創生の大きな目的の1つに人口増加がある。その施策として



井上まさひろ

私は、昨年の宇多津町議会議員補欠選挙に立候補し、幸いにも当選することができました。その時にも皆様に訴えたことは、皆さんと一緒に「まち」を活性化したい。ということでした。その思いは今も変わっていません。脈々と受け継がれてきたこの「まち」を将来に向かって世代を超えてつなげていかなければならないと感じています。特に青野山山ろくに形成された古街と言われている街並みがこれからは在り続けることができるような施策を早急に講じることが必要だと考えます。

一方、予算の使われ方にも厳しくチェックしてまいります。住民の皆様は公平であるべきです。赤ちゃんからお年寄りまで、いつかは必要となるその時に、誰でも、公平に享受できるように施策を考えています。また、それを訴えていくことが議員としての責務だと考えています。

宇多津町職員時代の経験とその間培ってきた人とのつながりを頼りに、これからも町の発展に貢献したいと思っています。笑顔にあふれる町になるよう努力します。

おかだ茂久

うたづ町政の、民主主義を守ろう!!
がっつんと言えろ
人がおられないかん!!
行政改革をすすめる会

私は引き続き、議員の務めである
権力の監視と**政策の提案**をもって
勤我信念に努めて参ります。

あいつがいつのすべ	同年	千葉工業大学入学	1995年	町議会議員初当選
1944年	宇多津町に生まれ	同年	同校卒業	1期落選を経て
	宇多津小・中学校卒業	同年	県庁就職	現在5期終了
1962年	多度津工業高校卒業	同年	県庁退職	(2003年設計事務所退社)
同年	ダイキン入社	同年	ラモナー入社	趣味 香川二期会合唱団の
1963年	同社退社	同年	ラモナー退社	常任指揮者として42年。
		同年	設計事務所勤務	現在「宇多津おっちゃんコール」指揮者。



あい川
かつき
無所属・現

※この選挙公報は、候補者から提出された原文をそのまま掲載して印刷しています。 ※裏面もご覧ください。